

科目名		授業形態	担当教員名	
構音・口腔機能の評価・訓練Ⅱ		講義	今井 絵美子・平口 昌広・太田 信子 八尾 典江・岸本 裕子	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
15 時間（1 単位）		8 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
成人の嚥下障害、運動障害性構音障害の評価法の実際、訓練計画につなげる考え方、口腔ケアの手技を修得する。				
授業の到達目標				
口腔ケアを実施することができる。運動障害性構音障害例の録画映像を見て、構音、発声発語器官の運動を観察、分析、記載し、問題点を抽出し、訓練目標を立て、訓練法を選択することができる。発声発語器官、嚥下機能の検査を選択、実施し、評価することができる。文献を読み、様々な訓練法の特徴、適用について報告することができる。				
授業計画				
回	内容			
1	運動障害性構音障害：F.K.（検査評価、報告書）提示（太田・今井）			
2	運動障害性構音障害：F.K.解説（太田・今井）			
3	発声発語器官 運動検査（STADとスクリーニングテスト）（今井・平口）			
4	発声発語器官 運動検査の実際（今井・平口）			
5	口腔ケアの実際（八尾）			
6	口腔ケアの実際（八尾）			
7	嚥下障害（検査・評価）（岸本）			
8	嚥下障害（検査・評価）（岸本）			
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験				
レポート	55%	基準に達しない場合は再提出がある		
小テスト				
平常点	45%	八尾10% 岸本10% 今井・平口・太田25%		
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
言語聴覚療法シリーズ9 改訂 運動障害性構音障害	熊倉勇美		建帛社	
ディサースリア臨床標準テキスト	西尾正輝		医歯薬出版	
標準言語聴覚障害学 摂食嚥下障害学 第2版	藤田郁代		医学書院	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
自由記載				
備考				
嚥下障害の講義で使用した、テキスト・プリントを持参するようにしてください。（岸本）				